

箆笥地区協議会

「緑化推進」分科会の活動報告

緑化推進分科会は、箆笥地区の「緑化推進」をメインに活動しています。

平成27年度も、緑化推進への意識向上のため、たんすC&G(クリーンアンドグリーン)作戦と名付けた事業計画のもと、様々な手法で緑化推進の啓発を行いました。

9月27日には、牛込箆笥地域センター管理運営委員会主催のUTCオンステージと共催で、『UTCオンステージ&たんす緑と花のまちづくりフェア2015』を開催しました。牛込箆笥地域センター1階では、たんすギャラリーで当分科会の緑化活動を紹介するパネル展示や、地域センター入口で花苗や産直野菜の販売をしました。地下1階では、緑化のきっかけづくりとして、粘土団子の作り方を体験できるコーナーを実施しました。

さらに、27年度は新宿区みどり公園課と連携して、牛込箆笥区民ホールで、「みどりのあるくらし」講座を開催し、さらなる緑化活動を呼びかけました。また、平成20年から毎年地域の緑化に多大な貢献をされている方々を表彰してきましたが、現在でも緑化活動を継続している住宅や団体の写真を、区民ホールのロビーに展示し、ステージでもスライドショーにて紹介しました。

「モデルガーデン」事業は、あさひ児童遊園、新小川公園、中町公園の3箇所で、公園サポーターと協働し、27年度もモデルガーデンの維持管理に取り組みました。

「みどりのカーテンプロジェクト」への参加については、27年度も箆笥町特別出張所のあさひ児童遊園側壁面にゴーヤや朝顔、オカワカメを植え、みどりのカーテンを作り上げました。収穫物は、同じ場所で育てた内藤とうがらしを中心とした4種類のとうがらしと共に、「高齢者給食」や「たんすサロン」などに提供することができました。

27年度はみどり公園課と、より連携を深めることができました。9月の「みどりあるくらし」講座に続き、12月には、地域センター5階コンドルで、「屋上緑化とベランダ緑化の楽しみ方」講座が開催されました。この講座では、講義だけでなく、実習も行われ、ベランダなどの限られたスペースを有効利用する工夫や方法を学びました。

12月には、エコギャラリー新宿と新宿中央公園内のビオトープを見学しました。エコギャラリー新宿では、館長から施設の歴史や取り組みの講義を受けた後、同施設内で開催されている「新宿の花・みどりいっぱい写真展」も見学しました。この写真展には、当分科会で撮影した笹筒地区の約20枚の写真も展示され、その作品は新宿エコワングランプリの特別賞も受賞しました。

今後も笹筒地区のみどりや花、街並みの魅力をみつめ、緑化や景観の向上に取り組んでまいります。